

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-Kouhei.org



皆さん、こんにちは。だいぶ暖かくなってきましたが、花冷えの日もあるかもしれません。くれぐれもご自愛ください。

さて、参議院での予算案の審議も大詰めです。僕も本会議で予算関係の質問をしましたが、予算案の中身は相変わらず不可解な内容がいっぱい。例えば、農水省。各国の貿易制度調査のために二十三億円

の予算を計上。調査は役所本来の職務であり、そのために別途の予算がつくのは不可解。農水大臣の松岡さんに内容を質しましたが、答弁は曖昧かつ不可解。それもそのはず。自分の部屋の光熱費の実態も分からない人ですから、予算案の中身まで分かるはずがありません。

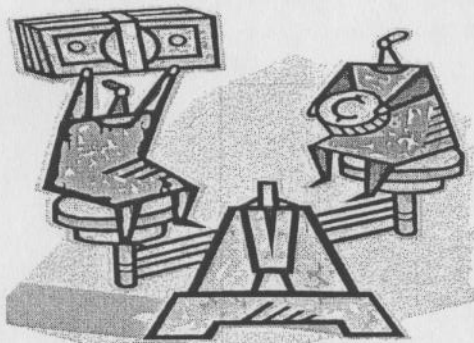
無責任さも相変わらず。財務省は外務省の旅券電子申請システムの予算を却下。このシステムは過去三年間に百三十三件分しか使用されておらず、旅券一枚の発行経費が千六百万円。財務省の指摘で外務所もシステム継続を断念。

民間企業であれば、このような失敗プロジェクトは誰かが責任をとるもの。開発や受注業者選定の経緯、総コスト、責任の所在を外務大臣の麻生さんに聞きましたが、これも曖昧なまま。これでは、財政再建が進むはずもなく、医療、介護、年金、雇用、教育などの財源が足りなくなるもの当たり前ですね。

不可解なことは予算案にとどまりません。経済財政担当大臣の大田さんが今後五年間で日本の労働生産性伸び率を一・五倍にすることを国家目標にすると言。その算定根拠と具体的方法を内閣府の担当者に聞いたところ、「とくに根拠も具体的な実現手段もありません。大臣の個人的意見ですから・・・」との不可解な説明。聞いた口が塞がりません。

安倍さんの経済政策の「上げ潮」路線という表現は、米国のケネディ大統領が自身の経済政策を説明する際に述べた「A rising tide lifts all boats」(上げ潮は全ての船を

持ち上げる) という発言の主語「A rising tide」から引用したものだ。ケネディ大統領は「all boats」、つまり全ての国民を豊かにするために、企業減税とともに、大規模な家計減税など家計の負担軽減策も実施。家計には増税の日本の現状には当てはまりませんね。大田さんが数値目標を掲げた労働生産性は、家計の負担や将来不安が軽減され、国民が安心して気持ちよく働ける環境が提供された結果として上昇するもの。政府が国民に数値目標を課すのは本末転倒です。このことは、予算委員会で安倍さんにもすっかりお伝えしておきました。



賞王山ゾク・バクコホー

(タイトル文字は書家・山内美風さん<TEL:782-1356>の作品)

—— 覚王山近辺の名店を続々紹介します! ——
〈今回は、「PIZZA SALVATORE CUOMO」さんです〉

「PIZZA SALVATORE CUOMO(ピッツァ サルバトーレ クオモ)」さんは日泰寺参道入口にあるイタリア料理のお店です。2月28日に新しく開店しました。

店内でまず目に入るのは大きな薪(まき)焼きの釜。「薪で焼くのとガスや電気で焼くのとは、味も香りも見た目も全然違いますよ」と語るのは店長の高村さん。本場のナポリピッツァと呼べるのは、水と粉とイーストと塩だけで生地を作り、薪で焼くものだけだとか。

お店の自慢はポッコンチーニチーズ。これは水牛の乳からつくられるチーズで、日本ではこちらのお店だけで味わえます。また、添加物を一切使用せず、天然素材だけでつくります。「ぜひご家族でおいください」と店長が語るように子どもからお年寄りまで誰でも安心してお召し上がりいただけます。

ぜひ一度ご家族でお立ち寄りください。

「PIZZA SALVATORE CUOMO」: 757-4671
(11:00~23:00 平日は 15:00~17:00 休)

「今、水道水を飲んでいる人はほとんどいらない」



「ナントカ還元水などが含まれる…」

Yoshi

マツオカ農水相の光熱費年間507万円の明細は?

(オール) (電化)

「光熱費だけに、全部出んか…」